

富沢小でサッカー ゴール塗装など

古垣建設

【小樽】古垣建設（本社・余市、古垣恒次社長）は19、20の両日、余市町内の富沢小でサッカーゴールの塗装やネットフェンスの補修などボランティアを実施した。写真。

同社は毎年、地元への感謝を込めて地域貢献活動を展開しており、ことも子どもたちのために何かできないかと、町教育委員会に申し入れていた。

6年目となる今回は、グラウンドのネットフェンス支柱が傾いている箇所を立て直し、網の破れ

を補修したほか、さびが目立っていたサッカーゴールなどを丁寧にさびを落として、ペンキを塗り直した。

社員の多くが東北や東京に出張し不在の中、今春入社したばかりの4人を含む総勢13人が地元への恩返しに汗を流した。

